

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (廿日市市立大野東中学校)

- ① 教科等 外国語科 ② 学年 第2学年
- ③ 単元名 Unit4 Homestay in the United States
- ④ 本時の目標
義務/禁止の状況や場面を考えて作成したスキットを発表し、**must/mustn't** を適切に用いて話す。
ホームステイ先での相談と助言について書かれた本文の内容を、義務の表現に注目して正しく読みとる。
- ⑤ 学習の流れ (6時間目/全9時間)

[言語活動の充実]

学習活動	指導上の留意事項 ◎「言語活動の充実」○「かかわりあい」 の視点・場面、◆Cと判断される生徒への手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 単語プリントの音読	◎毎時間始めに単語プリントを音読し、単語を正しく読める/書けるようにする。	
2 must/mustn't を使う場面のスキット発表 ・4人組の班で役割を決めて発表 A(ナレーター): Two students are in the classroom. B: What are you doing, C? C: I'm reading a comic. It's interesting. B: You mustn't read a comic at school. (Dは英文を提示)	◎ must/mustn't を使う場面(義務/禁止)を考えて作成したスキットを発表させる。 ◎スキット発表を8班分聞き、 must/mustn't を適切な場面で使っているか考えさせる。 ○スキット発表の際には、見ている人によく分かるように4人班で協力し工夫させる。 ◆ must/mustn't の表現に注目させるために、発表の際に、 must/mustn't を使った英文を文字で提示させる。	・ must/mustn't を適切に用いて話している。〔外国語表現の能力〕(スキット台本, スキット発表) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">Bと判断する生徒の言語 <u>You must ~.</u> <u>You mustn' t~.</u></div>
3 本文の内容理解 発問①ナナのホームステイ先での悩みは、ナナのどの言葉で分かりますか。 発問②先生の助言では、ナナの悩みはどんなことが原因ですか	◎答えを考えるために教科書の本文を何度も読ませる。 ○発問に対する答を各自で考えたあと、テキストの英文(単語)を根拠に自分の考えを説明させる。(4人班) ◆読解のためのヒントカードを準備する。	・ have to や must の表現に注目して正しく読みとっている〔外国語理解の能力〕(ワークシート) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">Bと判断する生徒の言語 have toとmustが使われている文を根拠にナナの悩みと先生の助言の内容を書いている。</div>
4 振り返り	・ have to, must, mustn't の使い分けができるか、空所補充問題で確認させる。	
5 課題の確認	・教科書本文の視写を課題として提示する。	

設定した言語活動を通して育てたい力

- **must/mustn't** を適切な場面で使って話すことができる。
- 発問に対する答をテキストの英文を根拠にして話し合い、正しく読みとることができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- スキット発表等において4人班を活用するなど、学習形態を工夫する。
- 使わせたい表現を具体的に挙げ、ゴールを明確にして発表させる。